



JFL
JAPAN FOOTBALL LEAGUE

Never Stop Challenging.

MDP

VEERTIEN MIE
2026 JFL CUP
OFFICIAL
MATCHDAY
PROGRAM

AEON MALL
イオンモール東員

yamadai

TRES



 COSMO

5/3 SUN

2026 JFL CUP 第6節
13:00 KICK OFF
vs FCマルヤス岡崎
CSアセット港サッカー場

1

KENTA MORI 1

TODAY'S MATCH

第6節 13:00 KICK OFF



ヴィアティン三重 VS FCマルヤス岡崎



前節(4月5日)

ミネベアミツミFC戦 ● 1-2 沖縄SV戦 ○ 1-1(PK 6-5) ※PK勝ち

西グループ 順位表

順位	チーム	勝点	試合数	勝	PK勝	PK負	負	得失点差
1	沖縄SV	13	5	3	0	1	1	+6
2	Honda FC	13	5	2	2	1	0	+3
3	FCティアモ枚方	12	5	3	0	0	2	+4
4	ミネベアミツミFC	11	5	2	1	1	1	-1
5	ジェイリースFC	9	5	2	0	1	2	+1
6	FCマルヤス岡崎	9	5	1	2	1	1	-1
7	ヴェルスバ大分	8	5	2	0	0	3	-4
8	ヴィアティン三重	0	5	0	0	0	5	-8

PREVIEW プレビュー

凡事徹底で成長を

想像以上に結果が出ていないJFL CUP。昇降格のない大会で良かったと胸をなで下ろすサポーターもいるかもしれない。ただ、菅原太郎監督は「このままではダメだと気付けたことは収穫」と前を向く。今はJリーグ到達への産道。その過程に苦しみがあるからこそ、未来の歓喜はより大きなものになる。

とはいえ、監督や選手たちが抱える苦悩も想像以上だ。試合中に「早く得点が欲しい」という焦りから、タフなシュートを選んでしまう場面もその表れだろう。だからこそ今必要なのは、やるべきことを徹底し、自分たちの攻撃の形を築くこと。そして武器だった守備をさらに磨き上げることだ。個々の力を高め、チーム力を底上げし、この経験を26-27シーズンへつなげていかなければならない。

今季チーム初得点を挙げた堀下勇輝は、「自分は這い上がってきた人間なので、慢心することは絶対ないし、常に自分に何ができるのか考えてやっていく」と語った。レギュラーも控えも関係ない。選手たちはそれぞれがひたむきに努力を続けている。

今節はJFL CUPホーム最終戦。しかし舞台は普段とは異なる名古屋市のCSアセット港サッカー場だ。いつもと違う環境だからこそ、自分たちのやるべきことを貫き半歩でも成長したい。

スポーツライター・斎藤孝一



AWAY PLAYERS アウェイチームメンバー紹介

FCマルヤス岡崎



1968年にマルヤス工業サッカー部として創部。75年には愛知県サッカーリーグで優勝し、翌年から東海社会人サッカーリーグに戦いの場を移した。2003年には愛知県サッカー選手権で優勝し、初の天皇杯出場。その後13年に東海社会人サッカーリーグを制覇、14年にJFL入会。チーム名を「FCマルヤス岡崎」とした。

GK	1	志水 惇生	常葉大学附属橋高校
MF	2	畔柳 頼生	中京大学
DF	3	小川 真輝	Y.S.C.C.横浜
DF	4	堀江 貴大	アトレチコ鈴鹿
DF	5	徳武 正之	アスルクラロ沼津
MF	6	西本 雅崇	チェンライ・シティFC/タイ
MF	7	細島 大空	京都橋大学
MF	8	江口 稜馬	テゲバジャーロ宮崎
FW	9	酒井 達磨	奈良クラブ
DF	10	岡部 拓実	阪南大学
MF	11	林 雄飛	阪南大学
MF	13	揚石 琉生	栃木SC
MF	14	小野寺 亮太	アトレチコ鈴鹿
MF	15	児玉 慎太郎	ヴィアティン三重
MF	16	小西 陽向	AC長野パルセイロ
FW	17	後藤 寛斗	北陸大学
MF	18	石坂 亮人	FC刈谷
MF	19	加藤 隼登	常葉大学
GK	21	天野 友心	プリオベッカ浦安・市川
FW	22	大竹 将吾	ヴィアティン三重
MF	24	江口 和磨	四日市中央工業高校
MF	27	岡島 翔生	愛知学院大学
MF	29	榎本 大輝	レイラック滋賀
GK	31	久保 賢也	ツエーゲン金沢
FW	33	星野 創輝	栃木SC
DF	35	ユ・スンワン	大信大学校/大韓民国
GK	41	角井 栄太郎	駒澤大学

※2026年4月29日時点

2026 VEERTIEN MIE PLAYER ヴィアティン三重 選手紹介

(上から氏名・出身地・生年月日・身長体重・前所属) ※2026年4月29日時点

GK 1  森 建太 愛知県 1994.6.15 180cm/75kg MIOびわこ滋賀	DF 3  村瀬 悠介 大阪府 1998.4.9 186cm/78kg FCマルヤス岡崎	MF 4  中里 崇宏 東京都 1990.3.29 174cm/70kg いわて グルージャ盛岡	DF 5  饗庭 瑞生 和歌山県 1997.5.3 180cm/77kg ヴァンラーレ八戸	DF 6  上田 駿斗 兵庫県 1998.4.14 180cm/70kg 鈴鹿ポイント ゲッターズ
MF 7  森主 麗司 静岡県 1996.9.25 170cm/64kg VONDS市原FC	MF 8  原 耕太郎 愛知県 2000.8.16 163cm/60kg FCマルヤス岡崎	FW 9  丹羽 詩温 アメリカ合衆国 1994.6.18 178cm/77kg カタマール・調校	MF 10  井口 棕介 大阪府 2001.2.19 170cm/60kg 飛鳥FC	FW 11  山田 晋平 愛知県 1999.5.13 176cm/76kg ソニー仙台FC
MF 13  安西 海斗 埼玉県 1998.2.19 172cm/65kg VONDS市原FC	MF 15  富士田 康人 福岡県 2000.12.16 175cm/70kg Y.S.C.C.横浜	DF 16  佐藤 駿介 三重県 2003.2.14 178cm/72kg ヴェルスバ大分	DF 17  小笹 響平 和歌山県 2000.8.5 168cm/67kg 飛鳥FC	DF 18  前田 大地 東京都 2002.5.23 181cm/76kg シュワボ東京
DF 22  伊東 進之輔 大阪府 2003.4.18 188cm/78kg キラヴァンツ 北九州	DF 24  池田 直樹 東京都 1994.12.10 171cm/66kg 東京武蔵野 シティFC	FW 26  堀下 勇輝 神奈川県 2001.12.18 178cm/75kg ジョイフル本田 つくばFC	GK 29  青嶋 佑弥 静岡県 1999.7.26 182cm/80kg FCティアモ枚方	DF 30  岩本 剛気 大阪府 2003.7.30 184cm/81kg 福岡大学
MF 35  寺尾 憲祐 三重県 1998.10.27 167cm/58kg FCマルヤス岡崎	FW 37  池田 虎弘 愛知県 2002.8.20 177cm/72kg 愛知学院大学	MF 38  松浦 蒼波 滋賀県 2003.2.17 177cm/68kg 京都産業大学	MF 39  増田 鈴太郎 神奈川県 2002.7.2 175cm/69kg 東洋大学	MF 42  桐 蒼太 神奈川県 1999.7.22 164cm/61kg アトレチコ鈴鹿
GK 77  倉持 一輝 埼玉県 2001.4.22 182cm/80kg JAPAN サッカーカレッジ	監督  菅原 太郎 滋賀県 1981.6.14			

INFORMATION お知らせ



26'ユニフォーム クッションチェーン

カップ戦期間のユニフォームデザインになった
クッションチェーンを販売中!

種類

1st FP/GK モデル:全27種類

2nd FP/GK モデル:全27種類 ※14番を含む

サイズ

約65mm × 55mm

※無くなり次第終了となります。

NEXT GAME 次の試合

5/10 **12:05**
KICK OFF

vs **アトレチコ鈴鹿**

第31回三重県サッカー選手権大会 決勝
会場:四日市市中央陸上競技場

※最新の情報はHPにて更新いたします。
主催:三重県サッカー協会

PLAYER INTERVIEW



良い緊張感の中で 準備ができた

森 建太

—今季始動して3ヶ月、カップ戦もここまで5試合を戦いました。

このメンバーでJFLを勝ち抜き、昇格できるという思いは開幕前から今も変わっていません。結果が出ていない今は、説得力に欠けるかもしれませんが、どのチームよりも強度高くトレーニングや試合に取り組んできた自信はあります。実際に戦う中でも、あと少し歯車が噛み合えば結果はついてくるという手応えがあります。ほんとに「あと一歩」の部分だと思っています。その中でも、やはり無失点で試合を進めることには、もっとフォーカスしていかなければいけないと感じています。

—前節から2週間という準備期間がありましたが、どのような時間になりましたか？

監督が言っている通り、目の前の1試合1試合に全力で向き合うことが全てだと思っています。この2週間はチーム内の競争も激しく、良い緊張感の中でしっかりと準備ができた期間になりました。

—名古屋でのホームゲームについて。

子どもの頃もこの会場でプレーした経験はありませんが、やはり出身地の愛知でプレーできることには特別なものを感じています。現役としてヴィアティン三重のホームゲームを名古屋で戦えることは本当に特別で、サッカーを続けてきて良かったと感じています。

—再び夏からリーグ戦が始まりますが、カップ戦では最後のホームゲームということでメッセージをお願いします。

このカップ戦では、まだサポーターの皆さんと勝利の喜びを分かち合えていません。だからこそ、この港の試合で必ず勝って、皆さんと一緒に喜びたいと思っています。全身全霊で戦いますので、ぜひ力強い後押しをお願いします。

2026 PARTNER ヴィアティン三重2026パートナー

